

オイスカ in 四国

<http://ww8.tiki.ne.jp/~oiscatc/>

オイスカ(OISCA)の意味

O...Organization (機構) I...Industrial (産業) S...Spiritual (精神) C...Cultural (文化) A...Advancement (促進)

Vol. **1**
2006年4月



Cultivate the Future
—大地と人に、もっとドラマを—

国際交流は一人一人の絆から、森づくりは一本の苗木から
日本と世界の未来を考えよう

インドネシア、ミャンマー、タイ、カンボジア

地球に緑を増やしたい

2005年度のあゆみ

今年度もイロイロ楽しい思い出が出来ました。

育てています地球の未来——佐藤会長抱負を語る

『オイスカin四国』創刊によせて

国際貢献できることから始めてみませんか

あなたにも、きっと見つかる国際貢献

国際貢献

できることから始めてみませんか

ボランティア 募集中

グループ活動の記念事業として

- ミャンマー学校の教室建設 (志度ライオンズクラブ)
- インドネシア学校の教室建設 (坂出白峰ライオンズクラブ)
- フィリピンの研修センター増改築 (ソロブチミストよさこい高知)



センター
ボランティア(1年間)

研修生と生活をともにし、農業や国際交流を体験できます。

お手伝い
ボランティア

空いている時間に農業や調理、研修生のお世話を手伝ってくれるボランティア。

日本語教育
ボランティア

研修生に日本語を教えるボランティア。

詳しくは研修センターにお問い合わせください。

児童会、生徒会、
サークル活動の一環として

- チャリティーバザーの売上げ寄付
- 街頭募金活動
- スマトラ沖地震義援金
四国支部、各支局から約270万円の義援金を応募



研修センターの
農業体験や
国際交流イベントに
ご参加ください。

- 田植え交流 (5月)
- 夏野菜収穫祭 (7月)
- 国際交流キャンプ (8月)
- 稲刈り (9月)
- 芋掘り (10月)

社会貢献、研修の場として

- 異文化理解講座への参加
- 研修センターへの入所体験 (宿泊可能)



学校の交流授業として

- 学校での楽しい交流授業
- 研修センターへの訪問
- ベルマークを集める



海外、国内の
植林ボランティアにご参加ください。

- 山・林・SUN体験 (四国支部3月・11月、愛媛県支局3月)
- インドネシア海外植林 (四国支部8月)
- カンボジア海外植林 (三豊支局11月)
- タイ海外植林 (愛媛県支局8月)

オイスカ研修センターの
生産物をご購入ください。

- 無農薬・有機栽培の野菜、米、卵。
- とうふ、ジャムなどの加工品など

お問い合わせ先

■四国支部	〒760-0023	高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F	☎(087)821-1503
◆高松支局	〒760-0023	高松市寿町1-3-2 第一生命ビル5F	☎(087)821-1503
◆坂出支局	〒762-0011	坂出市江尻町1721-10 (株)石井内	☎(0877)45-0141
◆三豊支局	〒769-1502	三豊市豊中町笠田笠岡3915-3 (株)イナダ内	☎(0875)56-6001
◆香川東支局	〒769-2316	木田郡三木町井戸621-1 (株)バック三樹内	☎(087)899-1111
◆中讃支局	〒763-0034	丸亀市大手町3丁目2-1 (四国電力(株)丸亀営業所内)	☎(0877)22-5973
◆徳島県支局	〒770-8555	徳島市寺島本町東2-29 (四国電力(株)徳島支店総務課内)	☎(070)5984-0808
◆愛媛県支局	〒790-0925	愛媛県松山市鷹子町588-3 (東予産業(株)内) http://www.oisca-ehime.com E-mail lovegreen@oisca-ehime.com	☎(089)970-3100
◆高知県支局	〒780-0870	高知市本町1-6-24 (高知商工会議所総務部内)	☎(088)875-1177
■四国研修センター	〒761-2103	香川県綾歌郡綾川町陶5179-1 http://ww8.tiki.ne.jp/~oiscatc/	☎(087)876-3333

編集後記

オイスカ四国の活動は「アジア・太平洋地域からの研修生招聘と技術研修」、「国内外の植林」、「国際交流」など多岐にわたっています。これらの活動は会員の方の会費、善意による寄付金などに支えられており、実際の活動もボランティアの方々の活躍によって成り立っています。当誌「オイスカin四国」でご興味を持たれた方は、ぜひ一緒にオイスカ活動にご参加ください。

またオイスカ四国を広く知っていただくため、当誌を置いて、多くの方にご覧いただきたい場所があればお知らせください。宜しくお願いします。

広報委員会

委員長 豊田 隆 ☎(087)851-1151
副委員長 池田 敦史 ☎(087)876-3333



ロンボック島の子供達に記念品の贈呈
(上) 山本氏 (下・右から) 山本幸音・農さん



インドネシア植林 ロンボック島マタラム空港通り記念植樹
最前列左より 森崎氏、寺内氏
後列左より 富田氏、土岐氏、富永氏、山本氏、石井団長、
佐藤会長、小谷氏、高橋氏
最後列左より 山本夫人、榎本氏

ミャンマー訪問
完成した教室。ミャンマーの未来を創りだす
支援です。



世界で! *Around the world*

インドネシア、ミャンマー、タイ、カンボジア

地球に緑を増やしたい



タイ植林
沼地を足と泥で、
の大変な作業を
のやらかな現地
に、癒されまし

三豊支局では11月、「カンボジア植林ツアー」を実施しました。カンボジアは貧しく、国づくり真っ最中で様々な援助を必要としています。しかし本当に必要なことは何か。その答えの一つが現地の人々といっしょに汗をかくことではないでしょうか。愛媛県支局では11月「私の青空アジア・タイ（ブリーケット）オイスカの森」と題し、マングローブ植林が

多くの開発途上国では「植林」に対する住民意識の低さにより、「森林破壊」が進んでいます。しかしそれは現地住民だけの責任ではなく、先進国に住む私たちが輸入資源を無駄遣いしていることと無関係ではありません。そこでオイスカ四国支部では日本人としての自覚を確認し、現地住民への啓蒙を進めるため、海外植林に取り組んでいます。

5カ年計画第二期目のインドネシア・ロンボック植林事業は8月に実施しました。ロンボック島はバリ島の東隣にあります。現地住民の意識も向上しつつあり、村の子供たちやお年寄りもいっしょに植林をしてくれます。

四国支部、各支局が海外に植林、視察へ

実施されました。この事業はANAと共催で、今後6ヶ年計画でタイの3都市に植林していきます。香川東支局は一昨年、ミャンマーを視察訪問し、現地住民から「教育施設の不足」を訴えられ、昨年、地元志度ライオンズクラブが40周年記念事業として「教室建築」の費用を支援し、11月にライオンズクラブメンバーと香川東支局のオイスカ会員が学校完成式に参加しました。



カンボジア植林
カンボジア政府は植林地を「オイスカ公園」として、
森林保護区に指定しました。



オイスカ四国のつどい in 香川

主催：財団法人オイスカ四国支部



(左) オイスカ総裁 中野良子
(上) オイスカ四国のつどいin香川
研修生のアトラクション。一生懸命日本の歌を覚えしました。

国内で! *in Japan*

国際交流は一人一人の絆から、森づくりは一本の苗木から

日本と世界の未来を考えよう



愛媛の集い
赤井英和氏を招いてのパネルディスカッション

*「子供の森」計画
オイスカが進める子供が主役となる植林プロジェクト

「四国のつどい in 香川」オイスカ研修生は日本に滞在中、香川県にある研修センターで日々研修に励んでいます。研修だけでなく、支援者である会員の皆様を始め、お年寄りから子供までの国際交流も大きな役目の一つです。その中で10月に行なわれる「四国のつどい」がもっとも大きな行事です。2005年は10月7日、香川県高松市で、第13回「四国のつどい in 香川」が開かれ、約600名もの参加者が集まりました。愛媛県でも10月27日に松山市で「国際協力推進 愛媛の集い」と題した行事が開かれ、「子供の森」計画親善大使の赤井英和氏を招いたパネルディスカッションを開催しました。2006年は四国各県での開催が予定されていますので、ぜひご参加ください。



愛媛県支局主催
「私の青空 松山空港・
オイスカの森 in えひめ」
と題し、270名で3000本
を植林。

「山・林・SUN植林」体験
オイスカは誰でも参加できる「植林」体験を四国各地で行なっています。「森」を作り、守るのは簡単ではありませんが、山に登り、汗をかき、たった一本でも木を植えることで、「森」への感謝の気持ちを持つことができます。2005年は坂出支局、愛媛県支局が「山・林・SUN植林」体験を実施し、中讃支局が丸亀市実施の「本島植林」に参加し、また企業とNGOとの連携事業として「IBMとの協働植林事業」も実施しました。

10月

四国支部最大の行事「四国のつどい」を開催。

- 1日 香川東支局 山下氏宅に研修生2名ホームステイ
- 2日 JICAピーストークマラソンにパネル展示。
- 5日 第124回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 6日 中野総裁、廣瀬局長来四 研修センター訪問。
- 7日 研修センター別館竣工式「四国のつどい in 香川」
- 15日 志度ライオンズクラブ40周年記念大会で、ミャンマーへの学校支援目録贈呈。
- 16日 「さぬきフェスタ2005」に出展(サンポート高松)
- 17日 陶小学校5年生と稲刈り交流。
- 21日 国際ソロプチミストよさこい高知例会で支援への感謝報告。
- 23日 オリーブフェスタに参加。
- 26日 日本IBM・黒田電気研修受入れ12名。(～31日)
- 27日 「愛媛の集い」に研修生12名参加。
- 31日 日本IBMとオイスカの協働植林に参加。



私はコンバインより手で刈った方が早いです

11月

各支局で活発に海外派遣が行なわれました。

- 2日 川染節江先生による講義「日本の食生活」(全3回)
- 4日 直島中学校での交流会に研修生全員参加。
- 5日 研修センターにて「国際交流&芋ほり交流会」を開催。
- 5日 徳島女性部ホームステイ受入れ11名(1泊2日)
- 9日 香川東支局会員、ミャンマー訪問(～14日)
- 10日 第125回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 10日 3委員会合同会議(センター運営、広報、会員増強各委員会)
- 10日 第14回 研修センター運営委員会開催。
- 12日 環境フェスタに参加。(サンポート高松)
- 13日 香川女性部お茶会に研修生が参加。
- 18日 愛媛県支局タイ・ブーケット植林(～23日)
- 19日 三豊支局カンボジア植林(～24日)
- 20日 本島植林に研修生参加。(中讃支局合同)



瀬戸内海に浮かぶ本島の森



おイモ大好き大収穫祭!

12月

あっという間の一年でした。修了研修生さようなら。

- 2日 第8回 会員増強委員会。
- 2日 今年2回目の大野原小交流(三豊支局管轄)
- 4日 香川大学農学部キャンパスにて「日本語検定試験」を受験。
- 5日 丸亀ソロプチミストクリスマス会に参加。
- 7日 広島見学(広島支局招待)
- 7日 第126回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 11日 研修センター修了式。
- 16日 研修修了式(東京)



修了式。母国へ帰ってもがんばってネ!

1月

新年あけましておめでとうございます。

- 12日 第127回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 19日 第2回 広報委員会開催。
- 21日 6カ国11名の新しい研修生が入所。
- 22日 綾南町のつな引き大会に参加。



生まれて初めての雪を体験

2月

研修生は毎日日本語の勉強です。サム～イです。

- 2日 第128回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 3日 綾南支局の「豆まき」に参加。
- 16日 正副委員長会議(センター運営、広報、会員増強各委員会)
- 16日 第15回 研修センター運営委員会開催。
- 21日 徳島県鴨島ロータリークラブ例会に参加。



日本の伝統行事「豆まき」を初体験。オニのお面をかぶってハイチース

3月

研修生が日本の生活に少し慣れた頃、春の訪れを感じます。もうすぐ待ちに待った桜が見られます。

- 5日 ひまわり文化交流会の「ひなまつりパーティー」に参加。
- 8日 第129回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 11日 1年の研修センターボランティア修了式
- 19日～23日 インドネシア・ロンボック島植林に現地調査、および坂出白峰ライオンズクラブ小学校贈呈式(6名全員・オイスカ会員)
- 26日 「私の青空・松山空港・オイスカの森 in えひめ」植林



坂出支局主催 3月27日に綾南町の町有地約1haに、約180名でヒノキ、山桜を約3千本植林。年2回の開催で今回20回目

4月

研修センターには新しいボランティア4名が来ました。

- 10日 綾南町主催こどもカーニバルに参加。
- 14日 第23回 オイスカ四国支部幹事会開催。
- 14日 第11回 研修センター運営委員会開催。
- 21日 庵治中学校の生徒44名が郊外学習で研修センターへ。
- 21日 第12回 研修センター運営委員会開催。
- 23日 オイスカ香川女性部協力による高松市中野町無農薬農産物のバザー(以降毎月第2・4土曜日実施)
- 25日 綾南町生活研究グループの総会に研修生参加。
- 27日 研修センター運営委員会とセンター職員の見学交流会。
- 28日 綾南町立陶小学校、昭和小学校児童が来所。



こどもカーニバルでバブアニューギニアのダンスを披露

5月

1月から始まった基礎研修も終わり、農業や家政などの本研修が始まりました。

- 2日 愛媛県支局主催チャリティーゴルフ開催 研修生も2名参加見学。
- 9日 第119回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 21日 研修センター主催 オイスカ国際交流&田植え交流。
- 22日 香川女性部総会(高松市)
- 29日 四国電力総連主催チャリティーボウリング大会開催。研修生も16名参加。



ボク田植え初めて?

6月

各支局の総会が開催されました。

- 6日 第7回 会員増強委員会。
- 7日 中讃支局総会(丸亀市)
- 8日 第120回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 8日 「オイスカ四国のつどい」検討委員会。
- 9日 徳島県支局総会(徳島市)
- 10日 坂出支局総会(坂出市)
- 12日 香川東支局総会(さぬき市)
- 16日 愛媛県支局総会(松山市)
- 23日 三豊支局総会(観音寺市)
- 28日 香川県三木中学校 人権学習の授業で研修センター訪問。
- 30日 オイスカ徳島女性部 研修センター見学および研修生との交流。



坂出支局総会 みんなと一緒に踊りましょう!インドのダンスです

7月

研修旅行で万博を見に行きました。

- 1日 大野原小学校での交流。
- 6日 四国電力のヨンデンプラザ高松でミャンマー料理教室。
- 7日 第121回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 7日 地元綾南町の羽床公民館で行なわれた七夕茶会に参加。
- 13日 高知県支局総会(高知市)
- 14日 坂出市姉妹都市協会の総会でネパール研修生による発表。
- 15日 高松支局総会(高松市)
- 16日 研修センター主催「夏野菜収穫祭」を開催。合わせて小学生を研修センターに宿泊させての「オイスカ土よっこ塾」を開催。
- 23日 研修センターの研修について西日本放送のラジオ取材。
- 26日 研修センター研修旅行。オイスカも出展している「愛・地球博」へ



自分で収穫したらキラいな野菜も食べられそう。夏野菜収穫祭で

8月

日本の暑さには研修生も参りました。

- 1日 第13回 研修センター運営委員会開催。
- 3日 第122回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 15日 徳島県支局、徳島女性部のほからいで阿波踊りに参加。
- 17日 綾歌郡ライオンズクラブ どじょう汁に招待されました。
- 18日 高知県支局で木工教室開催。
- 20日 インドネシア・ロンボック島植林(～24日)
- 22日 県立高校の先生方が研修センターで研修。



阿波踊りに初参加。慣れない手つき足つきでヤットサー

9月

2005年最大のニュースと言えば、テレビで全国放送。

- 3日 研修センター主催「国際交流&稲刈り交流」を開催。
- 4日 テレビ朝日バラエティー番組「銭形金太郎」の取材。
- 7日 第123回 オイスカ四国支部常任幹事会開催。
- 11日 高松空港「こどもの国」にて飛行機フェスタに参加。
- 12日 四国電力ヨンデンプラザサンポート高松 パネル展示(～18日)
- 17日 高松家族会の招待で徳島の渦潮見学ならびに藍染体験。
- 18日 地元綾南町立陶小学校の運動会に参加。
- 23日 三豊支局 森会長の招待で「森野卵場」の見学。



高知県支局主催 木工教室 木のぬくもりを感じて地球の緑を守る人に育ってね



初めての藍染め体験 高松家族会

新しい研修生です。

ヨロシクオネガイシマス



農業研修生 (5名)
家政研修生 (1名)
生活改善研修生 (11名)
農業委託研修生 (2名)

オイスカ四国研修センター 研修の紹介

オイスカは創立以来、一貫して「人づくり」を事業の柱にしています。毎年、日本へやってくる研修生は技術のみならず、日本の文化も学び、また多くの日本人と心と心のふれあいを体験し帰国します。日本で学んだ技術を現地に伝え、リーダーとして活躍すること、そして世界中により「日本の理解者」を作ることがオイスカの使命です。

農業一般コース(1年)

入国後3ヶ月の日本語学習を中心とした「基礎研修」(各コース共通)の後、野菜、稲作、果樹などを実践的に学びます。オイスカでは「環境に優しい無農薬、有機農法」を中心に、「平飼いな自然卵養鶏」も指導しています。また見学や講義、外部農家への委託研修も行い、市場、流通、販売についても学びます。研修生の出身国ではまだ農業が重要な産業であり、研修生は小さい頃から田んぼや畑で親の手伝いをしてきました。センターには農業を知らない日本の子供や青年が訪れることも多く、研修生たちが農業の先生役になり、「農業体験と国際交流」を行っています。



家政コース(2年)

調理、洋裁、食品加工などを学ぶ女性研修生のための2年コースです。包丁の使い方など基礎技術に始まり、野菜、肉、魚など各種の食材をどのように調理するかと栄養バランスを考え、一日のメニュー、一週間のメニュー、季節に応じたメニューが作れることを目標にしています。またセンターには豚肉を食べられない、牛肉を食べられないなど様々な宗教的タブーを持った研修生がいますが、家政研修生はそれらの要望に応じたメニューを作ることできます。2年目を迎えると、先輩研修生として、新しい研修生のお姉さんとして、後輩を指導しています。



JICA 農村女性のための生活改善と村づくりコース(1年)

「農業研修」と「家政研修」の実績を踏まえ、農業、調理、食品加工、洋裁、保健衛生など「地域の生活改善」に必要な知識と技術を学ぶ女性研修コースが、オイスカで唯一、四国研修センターで始まり、7年目を迎えました。JICA(国際協力機構)からの評価も高く、当センターの特徴と言える研修コースです。今年は6カ国11名の研修生が参加し、日本についてだけでなく、互いの国についても学び合います。女性の地位が低い研修生出身国で、帰国後に研修生が活躍し、女性の地位を向上させ、地域を発展させることが期待されています。



農業・工業委託コース(15ヶ月~3年)

センターでの基礎研修を終え、外部の農家や一般の会社で研修する制度です。研修生受け入れ先はオイスカ活動を理解し、支援して下さる「オイスカ法人会員」です。研修生の技術習得、生活上の指導をしながら、暖かく、時には厳しく対応して下さるため、オイスカ研修生は第二の家族、日本を第二の故郷と感じ、国へ帰っていきます。業種は「養鶏」、「蔬菜」、工業については「鑄造」などを現在研修しています。



四国研修センターのホットなニュースはメルマガでもGetできます。



研修生の授業風景

会員の皆様方には、日頃からオイスカ活動に格別のご協力をいただいておりますこと厚くお礼を申し上げます。
オイスカ四国支部は、平成5年4月に設立いたしました。発足時は、会員数852件、平成10年には、1,185件と順調に伸びて参りましたが、その後漸減傾向が続き平成18年3月末で、900件を大幅に割ることが予想されております。
こうした事態に対し、既に平成15年に会員増強委員会を設け、四国支部の最重点課題として会員増強と取り組んで参りました。

の費用がかかります。これらの費用は、オイスカ会員の会費および寄付金によって賄われております。こうした活動を継続するためには、会員増強は欠かせません。会員各位におかれましても本誌を通じてオイスカ四国の実情にふれていただき、新規会員勧誘のため、ご活用願えれば大変幸せに存じます。
なお、本誌は年2回発行を予定いたしておりますので、皆様方ともどもよりよきPR誌として育て上げるようお力添えのほどお願い申し上げます。



毎朝のランニング風景

「オイスカin四国」の創刊によせて

会員件数の推移はオイスカ活動活性化の実態と表裏をなすものと存じます。
この度「オイスカin四国」の創刊もかねてからの懸案でしたが、漸くここに陽の目を見るにいたりました。誠に同慶に耐えませんが、さてオイスカ活動にはたくさん

入会の手続き

1 入会申込書に諸事項を御記入の上、最寄りのオイスカ事務所へ御送付下さい。

2 会費

特別会員	法人	100,000円以上	(年額)
	個人	50,000円以上	
維持会員	法人	40,000円	(年額1口)
	個人	20,000円	

3 御希望により 月額2,000円会員募集中

24,000円/年 毎月自動引き落としが可能 (クレジットカード、銀行、郵便局口座)

税法上の優遇措置

いずれの場合もオイスカに対する寄付金、会費の税控除が適用されます。御送付いたします領収書を確定申告時、法人(企業)では、決算時の税務申告に御活用ください。

オイスカ四国支部
会長 佐藤忠義



さとう ただよし
平成5年 四国電力相談役 現在に至る
平成5年 オイスカ四国支部会長
オイスカ理事就任 現在に至る